

第51回県内一周駅伝大会

タスキでつないだ想い

初優勝



総合順位の最終成績

(初日1区から最終日33区までの累計)

	チーム	タイム	差
★1	小 城	14:11:08	
2	佐 賀	14:13:32	2:24
3	伊 万 里	14:23:03	9:31
4	唐津・玄海	14:25:09	2:06
5	鳥 栖	14:34:34	9:25
6	武 雄	14:43:12	8:38
7	嬉野・太良	14:44:08	0:56
8	神崎・吉野ヶ里	14:50:36	6:28
9	杵 島	15:13:42	23:06
10	三 養 基	15:23:58	10:16
11	鹿 島	15:35:09	11:11
12	西 松 浦	16:09:54	34:45
13	多 久	16:25:56	16:02

小城市体育協会会長

平松 克輝さん

Katsuki Hiramatsu



プロフィール
医療法人ひらまつ病院理事長。
小城市体育協会会長。

今回、コースのいたる所で「小城市」の旗が、選手たちを励ましていた。その陰の立役者こそが昨年、体育協会の会長に就任した平松会長だ。元来スポーツ好きで、駅伝にもすっかりはまった。

駅伝の魅力は「長期間に渡る練習が必要な根気のいるスポーツで、みんなでつないでいくところがいい。大会の展開も非常にドラマチックで、他のチームを引き離していると思つたらいつの間にかグツと近くについて焦つたりと何がおこるか分からない」。

今回の勝因を尋ねると「今年、監督、コーチ、選手、全体的に人材が揃っていた。しかも、全員が『優勝』のために自分はどうすればいいの

かを考え、行動でき、チームがまとまっていたからだと思ふ」と。

会長に就任してまず、自分が一番の応援団になると決めた練習に顔を出したり、体づくりのアドバイスをするなど陰で支えてきた。更に、市を巻き込んで、みんなで応援したいと、選手が市内を走る時、防災無線で告知を流してもらいました。

それによって沿道には多くの市民の応援の声が響いた。「市民の皆さんの応援に選手たちも大いに励まされた。スポーツは人を元気にする力がある。今後もスポーツを通して、市民や企業、みんなを元気にしていきたいですね」。

Great Victory

小城市駅伝チーム監督

野田 正一郎さん

Shouichirou Noda



プロフィール

小城中学校、鳥栖工業高校で陸上部に所属。卒業後、北九州の実業団に在籍した後、小城市へ帰郷。現在、戸上電機に勤務し、戸上電機陸上部の監督を務める。

「優勝できて、本当に良かった」と笑顔が溢れる野田監督。高校生の時から選手として県内一周駅伝に出場し、6年前からは監督としてチームを率いてきた。大会への出場経験は何と26回。いつも最下位の小城チームをどうにかして強くしたい、という思いでチームを引っ張ってきた。

小城の成績は過去50回の大会のうち、第1回から39回までは15チーム中、常に10位以下。最下位の経験12回、一つ上の14位を7回と何度も悔しい思いを経験してきた。20年ほど前から選手の強化に取り組み、やっとひとけた台に。

しかし、佐賀、伊万里、唐津・玄海の3強の壁は厚く、なかなか優勝まで届かなかった。昨年ようやく5位になり、今まで育ててきた選手が揃い、

挑んだ今年の大会で悲願の初優勝を勝ち取った。

チーム最年長の選手の秋丸さんとは19年前、共に最下位を味わい、今日まで歩んできた同志。アンカーは秋丸さんに、決めていた。最後、ゴールテープを切る秋丸さんの姿に今までのことが思い出され、こみあげるものがあつた。

「時に意見がぶつかることもありました。が今までやって来て本当に良かったです」と。

また、今回、市民の皆さんの応援が力になった。応援してもらっていると更に気合が入つたそう。

次の目標は、「連覇！小城の地力を鍛え、見せつけます」と、早速4月から練習も再開。次への戦いがもう始まっている。



小城市駅伝チーム主将

大島 伸さん

Shin Ooshima



プロフィール

三日月町在住。白石高校で陸上部へ。戸上電機でも陸上部に所属。県内一周駅伝はもちろん九州一周駅伝にも選手として活躍している。

初優勝と共に、今回大きな喜びになったのが小城チームの主将・大島さんのMVP(最優秀選手)受賞だ。
「チームの初優勝の時にMVPをいただけ、本当に嬉しいです。この時まで待った甲斐がありました」と満面の笑みがこぼれた。
メンバーのいい兄貴分で、野田監督からも「選手と私とのつなぎ役。選手の思いをしつかり吸い上げてくれる」と信頼が厚い。この大会への出場回数は15回。今まで、優秀選手賞を6度受賞し、チームに貢献してきた。今回は初日と2日目の2区間を走り、区間賞と区間新記録を打ち立てた。

「周りから今年の小城市は優勝できるよ、と言われてプレッシャーがありました。新メンバーも多かったのですが、チームが一つになれるよう、主将として気を引き締めてきました」と語る大島さん。
「走っている時はがむしゃらですね。苦しいけど、タスキを待っている人がいると思うと進まずにはいられません。優勝にかける強い思いがMVPという結果になったんだと思います」と振り返る。
その奮闘に野田監督も「チームのメンバーでMVPをあげるなら大島」と言わしめた。
「次の目標は連覇。勢いだけだと言わせたくないですから。今度は追われる側になるので気を抜かず、そして更に活躍する選手を育てていきます」と次への闘志を燃やす。

Great Victory

プロフィール

- ・長男 慎治さん：この春帝京大学を卒業し、佐賀へ。今年の箱根駅伝で9区を走った。
- ・次男 靖悟さん：佐賀大学1年生。陸上部所属。
- ・三男 匡平さん：鳥栖工業高校2年生。陸上部所属。

期待の牽引力

安藤3兄弟

Andou brothers



左) 長男 慎治さん、三男 匡平君、次男 靖悟さん

今回、兄弟全員が選手に選ばれた安藤家。
長男・慎治さんはこの春大卒を卒業し、小城に帰って来た。「佐賀での新たなスタート、と思って走りました。区間賞を1つしかとれなかったのとライバルに負けたのが悔しかったです」と振り返るが、今回、優秀選手賞を受賞。
次男・靖悟さんは「優勝を狙えると言われていたので、チームの一員として失敗したくないと思って挑みました。来年も選手として貢献していきたいですね」と笑顔。

三男の匡平さんは「初めての参加で色々なことを学べた。出場できなかったのは悔しいけど、自分の実力も分かった。次回は必ず出場したい」。
実はお父さんの哲哉さんも元駅伝の選手。野田監督や秋丸さんと一緒に走っていたそうだ。
母・京子さんは「夫の応援に子どもたちが行った時、夫は坂道を最下位で走っていた。夫は足が思うように上がらない姿を見て、小学生だった慎治が、お父さんがかわいそう。リタイアすればいいのに」と泣き出しました。私が、タスキを待っている人がいるからきつなくても走り続けないといけない。がんばるお父さん凄いと、お父さん、お父さん、僕がかたきをとる！」って。主人の走る姿が3人の中に残っているのかな」と微笑む。
首を傾げた3人だが、慎治さんが「好きなことができるのは祖父母や両親が信頼して応援してくれるおかげ」と締めくくった。
兄弟3人でタスキをつなぐ姿が見れる日が楽しみだ。



アンカー

秋丸 直俊さん

Naotoshi Akimaru

プロフィール

牛津町在住。小城高校で陸上部に入部。佐賀広域消防局の職員。2010さが桜マラソン（ハーフマラソン壮年男子）1位、第60回記念公認鹿島祐徳ロードレース大会（ハーフマラソン一般男子40～49才）1位。



ガッツポーズでゴールテープを切った姿が印象的だった秋丸さん。「小さくガッツをするつもりが、苦しい時代が長かった分、やっと勝てた喜びが溢れてしまいました」と照れ笑い。

小城が一番苦しかった時代を知る唯一の現役の選手。初日に久保田町から福富町の区間を走り、2位から1位に追いついた。更に、最終日はアンカー（最終走者）として、2位の佐賀に1分以上の差を付けてゴールした。

今までアンカーの経験はなかったが、「今回は走りたいと思っていました。発表を聞いて嬉しかったです」と語る。野田監督も、駅伝を盛り上げてきた秋丸さんにアンカーを、という思いだったそうだ。

みんなの汗が染み込んだタスキを受け取った時、「走れなかった選手

やOBなど、いろいろな人の応援があつて迎えた大会でした。何としても1位でゴールして総合優勝を勝ち取りたいと思って走りました」と微笑む。

中学生の時から中学校の選抜駅伝に出ていたが、本格的に始めたのは高校生から。県内一周駅伝には高1から出場し、足掛け26年目。様々な大会で優勝する等結果を出し、チームに貢献されているが、その陰には毎日15キロを走るなどの日々の努力があればこそ。ベテランと言われるが練習も率先して行うなど、謙虚な姿に後輩たちもついてくる。

「慢心することなく、今後も第一線で走り続け、連覇を勝ち取りたいですね。たまに息子と走ったりしているの、いつか一緒にこの駅伝に出たら嬉しいです」と次への目標に向け、今日も走り続ける。

ま さか小城市が！と驚いたのと同時に大島さんが現役で走っているのを知り、輝いているなと思いました。“努力を積み重ねれば、いつか目標にするゴールに辿り着く”ということを感じました。(ゆいさん)

さ すが、小城市！市全体で応援する気運、各所での応援ののぼり旗、応援で追っかけしましたがその意気込みが伝わりました。(多久の住人より)



お めでとうございます。素晴らしい成績に感動しております。練習は大変だと思いますが、頑張ってください。(三日月三ヶ島 にしさん)

祝 ・初優勝！今後もマイペースでベストコンディションの走りを望みます。(真子信裕さん)



最 下位争いをしていた当時の選手でもある秋丸選手のアンカーとしての優勝のゴールは感慨極まるものがあったと思います。連覇を目指して頑張ってください。(山口勝義さん)

小 城駅でタスキリレーを見て感激しました。(小城市 50才)





【出場者名】

・監督

野田正一郎

・コーチ

本村 正剛

原田 常昭

・選手

秋丸 直俊

井原 浩二

大島 伸

本村 和也

原口 義史

吉井 克

杉光 潤一

野田 悠斗

川原田 祐規

溝田 慎悟

安藤 匡平

吉村 剛

諸泉 翔也

山口有里沙

大島 由佳

本村 尚武

藤井香代子

永測 和行

嘉村陽一郎

福田 憲互

鶴丸 真也

松尾 大地

北村 拓也

安藤 慎治

安藤 靖悟

久米 幸輝

江頭 祐輔

田中謙士朗

諸泉 達也

中村 綾

鶴丸 知子

辻 由加里



感謝をありがとう

